



「ころばないでね」

23P

かわさきDE雑貨市
声を想いを

10P

町政を問う
新入生にランドセルを

6P

決算特別委員会
跡地利用の検討を

2P

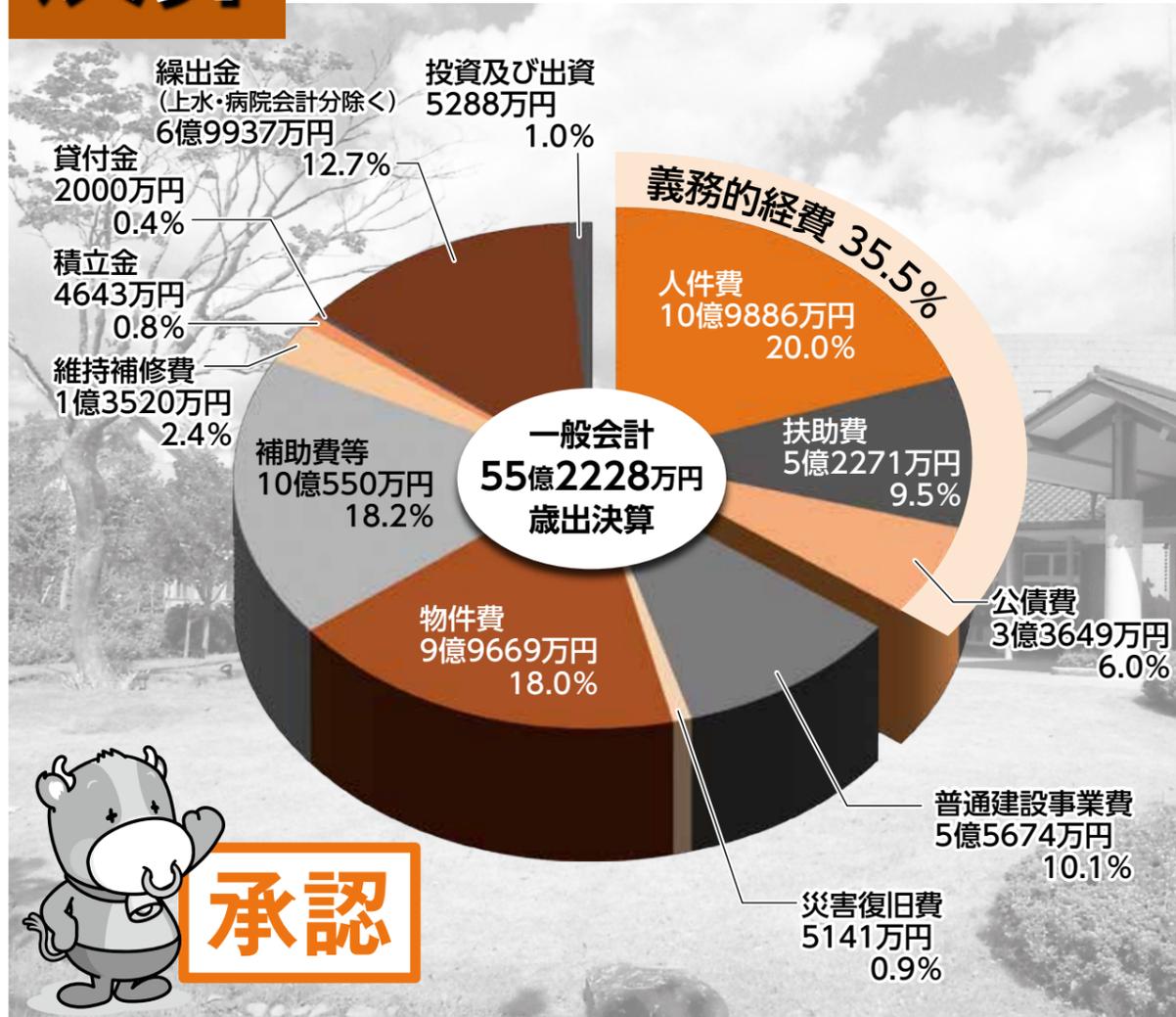
令和5年度決算
固定資産税増



令和5年度 決算

9月20日に決算認定案8件が審議され、原案のとおり認定されました。決算の概要を紹介します。

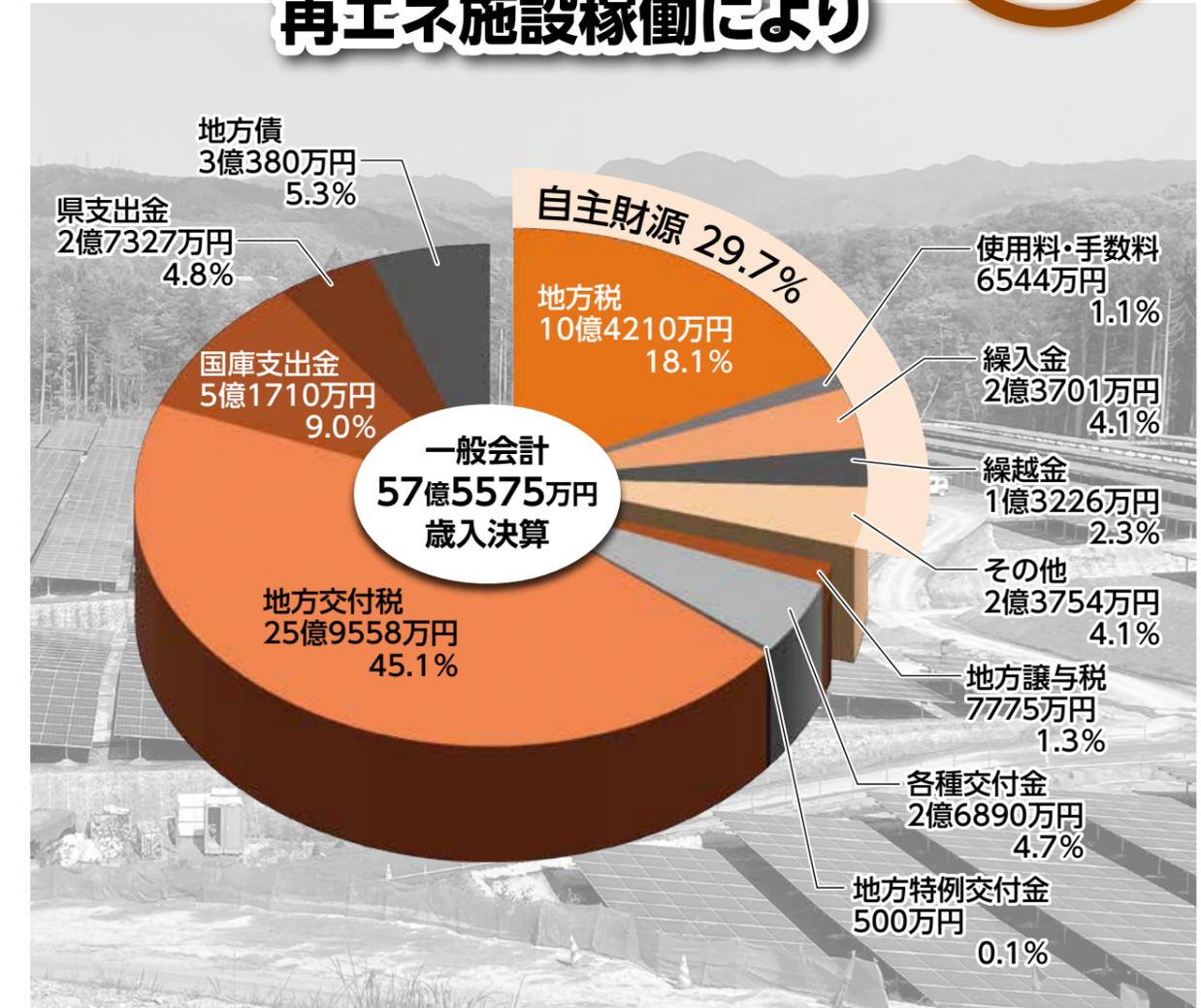
自主財源



固定資産税



再エネ施設稼働により



各会計歳出決算

一般会計	55億2228万円
国民健康保険特別会計	12億4183万円
後期高齢者医療保険特別会計	1億 317万円
介護保険特別会計	11億4312万円
温泉事業特別会計	1617万円
公共下水道事業特別会計	5億1745万円
病院事業会計 (3条分のみ)	8億7136万円
水道事業会計 (3条分のみ)	2億4032万円
合計	96億5570万円

用語説明

- 自主財源**
 固定資産税やふるさと納税など、町が自らの収入とすることができる財源。
- 義務的経費**
 法令などで義務付けられている経費。
- 社会保障関連費**
 一般会計の民生費、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療保険特別会計、介護保険特別会計を合算したもの。

ポイント

歳出

- 物価高騰、人件費の増加により各種委託費の増加
- 社会保障関連費は町経費全体で36億5145万円 (37.8%)

歳入

- メガソーラー施設の稼働による固定資産税は9720万円 (19.3%)の増加
- コロナ対策として地方創生臨時交付金の終了に伴う歳入減



的場要委員長 佐藤昭光副委員長

令和5年度の各種会計決算認定は議長と議会選出監査委員を除く11名で構成する決算特別委員会での審査に付託されました。委員長に的場要委員、副委員長に佐藤昭光委員を選任し9月17日から19日に審議しました。質疑は多数ありましたが、ここではその一部を紹介します。

街路灯の対応は

佐藤清隆委員

各地区の街路灯の電気料等を一部負担しています。修繕・撤去費用、LEDへの交換をどう考えていますか。

総務課

各行政区と打ち合わせを行い新設・修繕・撤去などを決定しています。できるだけ早い対応を心掛けています。

継続した支援を

遠藤雅信委員

新規就農者が継続して営農できるよう専門的な指導が必要だと考えますが。

農林課

新規就農期間終了後には営農研修や農業・農業機械の取り扱い研修を実施しています。今後も継続して営農支援を行っていきます。

耕作放棄地あるのか

佐々木昭雄委員

町内各地で行われた基盤整備の水田で、耕作放棄地はありますか。

農林課

一部で耕作放棄地も確認していますが、具体的な面積は把握していません。ほとんどで耕作が行われていると認識しています。

人員不足解消を

高橋義則委員

消防演習に参観した際、団員が少なく感じました。現団員217名の増える見込みは。また、班編成を新たに考えるは。

総務課

人口減少のなか団員を確保するのは難しい課題です。団員が少ない班もありますので、班編成の見直しも必要な状況だと感じています。

使い道検証



税金の適切か

令和5年度決算 審査特別委員会

企業版の件数増を

佐藤清隆委員

企業版ふるさと納税は令和5年度実績が1件でした。今後の取り組みと見込みは。

地域振興課

今年度は現時点で3件の申し込みがありました。仲介業者を入れて件数を増やせるように働きかけています。

利用申請が必要か

眞幡善次委員

運転免許自主返納者にタクシー利用券を交付しているが、申請は必要ですか。また、現在の利用人数は。

保健福祉課

免許返納者の把握はしていないため、申請していただく必要があります。令和5年度末で408名が利用しています。

税収どれくらい

佐藤昭光委員

町内でも太陽光発電施設が増えていきます。固定資産税はどれくらいですか。

税務課

大規模な太陽光発電施設は町内に3箇所あります。令和5年度で約9700万円の収入となっております。なお令和6年度は約1億4500万円です。

今後の除草作業は

大本治久委員

除草作業を行っている地域に対して交付金を出しています。人口減少や高齢化により除草を実施できない地域への今後の対応は。

建設課

毎年区長に確認しながら除草をお願いしています。実施が難しい地域は業者への委託、または町職員で対応しています。

花壇の維持管理は

佐藤清隆委員

花いっぱい運動事業では多年草への切り替えにより、雑草が生えて管理が行き届いていない場所が見受けられます。維持管理が難しいとの声はありますか。

生涯学習課

今のところ町への相談はありません。今後は現状を踏まえた対応を検討します。

受診しない理由は

高橋義則委員

特定健診の受診率は57.5%と前回とほぼ同じでした。受診率が向上しない理由を把握していますか。

保健福祉課

既に個人で医療機関を受診している人が多いため、大きな理由の一つと考えられます。また、受診に抵抗があるという人もいます。



省電力化へ



再生可能エネルギーへの理解も



大切な基幹産業



高齢化により継続が課題



自分らで守る



健康長寿のために

積極的な研修参加を

問 眞幡善次委員

職員のメンタルヘルスセミナーへの参加が少ない状況です。定期的な研修を行う考えはありますか。

答 業務命令で参加を

総務課長

ストレスで不調をきたしている職員も多くいると思われれます。業務命令として交代で参加させていきたいと考えています。

費用対効果の分析を

問 佐藤清隆委員

シティブロモーション事業は令和5年度から単費となりました。費用対効果を分析して今後の展開に生かすべきでは。

答 町長

効果を検証

読売新聞に掲載したふるさと納税広告は、ある程度効果を感じています。ユーチューブなども、もう少し分析・検証していきます。



▲ふるさと納税のために



▲貴重な路線バスの存続を

突然廃止無いように

問 高橋義則委員

川崎―大河原間をつなぐ路線バスの負担金が年々高くなっています。突然廃止することのないよう、しっかり方向性を確認すべきと考えますが。

答 方向性を確認する

地域振興課長

利用客の減少が課題です。事業者や県と情報共有して方向性を確認していきます。

債権拡充しては

問 佐藤昭光委員

債券運用で430万円の利益ができました。自主財源確保の観点からも運用を拡充する考えは。

答 一面性を考えて

町長

定期預金より高い利子になっています。基金運用は長期的な運用と、さまざまな事態に備える両面を考えながら、しっかり考えていきます。

総括質疑

の検討を

跡地利用

令和5年度決算



▲大事な憩いの場だが…

存続の協議は

問 佐藤新一郎委員

やすらぎの湯は、令和5年度に大きな修繕を行いました。今後大規模修繕があった場合でも存続するのか、協議する時期なのか、4年を目処に

答 町長

昨年1月のポンプ等故障の際、今後4年を目処に方向性を出すと言いました。関係者との意見交換し、情報を伝えながら決断したいと思っています。

町の管理はいつまで

問 生駒純一委員

温泉管理をしている自治体は、全国でもほとんどありません。民間的経営手法の導入を進めるべきでは。

答 町長

旅館組合の皆さまにお願いする時期だと考えています。議会の代表にも参加いただき、しっかりと意見を重ねたいと思っています。

水稲への参入は

問 高橋義則委員

新規就農者は、ほとんどが露地野菜の生産です。昨今のコメ不足や農家の高齢化も踏まえ、水稲への参入や法人化等へのサポートも必要だと考えるが。

答 協力してサポート

農林課長

高齢化や担い手不足は全国的な課題です。経営規模拡大や法人化を検討する場合は、関係機関と協力しサポートを行っていきます。

「3割増し」続けて

問 眞幡善次委員

3割増し商品券は即売完了しました。ぜひ継続していただきたいが、もっと充実したい

答 町長

好評な事業なので、もっと充実できるように対応します。

伊勢原跡地利用は

問 佐藤清隆委員

伊勢原住宅は解体が進み、来年度に完了予定です。町中心部でもあり好立地です。跡地の利用計画を進めるべきと考えますが。

答 町長

移住者や若い人たちに住んでもらえれば一番インパクトがあります。どこまで資金を投入していくのかも含めて、皆さんの意見を聞きながら検討していきます。

景観等に配慮を

問 生駒純一委員

大規模な再生可能エネルギー施設は固定資産税は大きな自主財源です。施設建設の申請があった場合は、環境や景観に配慮しながら可能性を検討すべきと考えますが。

答 町長

再生可能エネルギーとは共存が必要だと思います。住民と事業者の間に入り、事業が進められるよう支援したいと思っています。

婚活事業の再検討を

問 下斗米麻子委員

婚活事業は県や民間の事業を採用するなど、時代の変化に対応できるように、再検討が必要では。

答 町民生活課長

AIマッチングシステムを使った「みやまり」で結婚する人も多いと聞きます。登録を支援する事業なども考えていきます。



▲好立地で利活用に期待



監査意見 経費削減の継続を

投資的経費など臨時
的な単独事業の増加に
より、令和2年度以降
行っていないかった財政
調整基金の取り崩しを
行いました。このよう
な突発的な事業に対応
できる財政力を備えら
れるよう、積立金を奨
励するほか、基金の繰
入金は必要な事業のみ
活用し、着実な財源確

計画的な基金運用

これは物価高騰対策
事業費の増加や、単独
事業による維持補修工
事の増加が要因でした。
町税の徴収率は94.
4%で、昨年度から0.
1ポイントの減少とな
っています。

徴収率は微減

歳入では前年比59
41万円の減少、歳出
では前年比8937万
円増加した決算状況と
なりました。

病院事業会計は、安
定した病院経営を持続
可能なものとしていく
ため、引き続き長期的
な経営収支の評価に基
づいた経営判断のもと、
町民から信頼される医
療サービスの提供を図
ってください。

持続可能な経営を

収入未済額は一般会
計で675万円、特別
会計で1073万円と
前年度よりそれぞれ増
加となっています。引
き続き徴収対策の強化
を図り自主財源確保に
努力してください。

徴収対策強化を

保と計画的な負担軽減
策を講じてください。
しかしながら、依然
として交付税などの依
存財源による財政運営
を行っていることから、
今後とも経営経費の削
減に努めてください。

財政指標の状況

	R3	R4	R5	健全状況	指標の説明
経常収支比率	84.2%	89.1%	93.4%	悪化	財政構造の弾力性を表す指標で、この比率が高いほど経常剰余財源が少なく、財政の硬直度が進んでいることを示します。
連結実質赤字比率	赤字が発生していない			健全	標準的な収入に対する全会計の赤字割合です。
実質公債費比率	4.8%	4.5%	5.4%	健全	標準的な収入に対する、1年間で支払った借入金返済額などの割合です。
将来負担比率	数値が算定されない			健全	標準的な収入に対する将来支払う借入金返済額などの割合です。
積立金現在高比率	66.5%	77.1%	77.8%	健全	現時点及び将来にわたっての財源的な蓄えを表す指標です。
地方債現在高比率	62.7%	65.0%	64.8%	健全	将来償還すべき地方債現在高の標準財政規模に対する割合です。
財政力指数	0.310	0.300	0.300	低い傾向	財政運営の自主性の大きさを表す指標で、1に近いほど財政力が良いことを表しています。

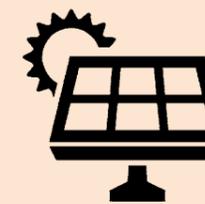
メンタルヘルスセミ
ナー等へ職員の参加が少
ない状況です。職員がス
トレスを抱えることなく
仕事に取り組むために
は、定期的な研修が必要
不可欠です。各種セミ
ナーに参加しやすい環境
整備に努めてください。



これまで国費で対応し
ていたシティプロモー
ション事業は、令和5年
度より町単独費での支出
となりました。費用対効
果をしっかり分析しなが
ら事業内容について検討
してください。



自主財源の確保は最重
要課題です。現在、大規
模な再生可能エネルギー
施設からの固定資産税は
大きな財源となっていま
す。今後、施設建設の申
請があった場合には、環
境や景観に配慮しながら
可能性について検討して
ください。



要望決議

決算特別委員会・総括質疑の中から
重要な項目を議発案として取り上げ、
要望決議として提出しました。

物価高騰対策や町内の
経済効果のため、好評で
あった3割増商品券の次
年度以降の継続を強く望
みます。



新規就農者は露地野菜
生産が主流となっていま
す。昨今のコメ不足や生
産者の高齢化も考慮し、
個人では困難な水稻への
参入や法人化等への継続
的なサポートを推進して
ください。



町営住宅建設について
は一定のめどが付き、新
たな建設を中止している
状況です。伊勢原住宅は
来年度に向けて解体を終
えるようです。役場にも
近く敷地面積も広く確保
できるので、跡地利用に
ついて検討してください。





さとう しょうこう 議員
佐藤 昭光



質問・答弁の動画は
←こちらから

問 マイナンバーカードの保険証利用登録がない場合の対応は。

答 町長
利用登録していない場合でも当分の間、国保・後期ともに資格確認証をプッシュ型で交付して、引き続き診療を受けていただけます。

問 健康保険証は12月2日から後期高齢者保険証とともに廃止され、マイナンバーカードに移行します。移行には反対する人もおり、廃止後の診療に混乱はないのか伺います。

答 町長
7月末で約77%。個人情報漏洩が心配等の理由で取得しない人もいます。5月時点での保険証登録率は国保で約63%、後期高齢で約55%です。

問 新制度加入へのPR活動は。

答 町長
利点などを記載したリーフレットを全被保険者に個別通知しました。今後もホームページやSNSなどを活用して広く周知していきたいと考えています。

答

資格確認書で診療継続も

問

マイナンバー移行後は



7人の議員が質問

町政を問う

一般質問は、町政全般の執行状況を質し、施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

- ◆ 佐藤 昭光 議員11
 - (1) 保険証とマイナンバーカード
 - (2) 夏祭り花火復活
- ◆ 下斗米 麻子 議員12
 - (1) 文化遺産と自然環境の保護
- ◆ 大本 治久 議員13
 - (1) 水稲作の斑点米対策について
- ◆ 佐藤 清隆 議員14
 - (1) 部活動の地域移行について
- ◆ 佐々木 昭雄 議員15
 - (1) ランドセルの無償支給を
 - (2) 今後の林業政策について
- ◆ 的場 要 議員16
 - (1) 川崎町公共施設等管理計画
 - (2) 夏休みのラジオ体操
- ◆ 高橋 義則 議員17
 - (1) 訪問介護の現状について
 - (2) マイナンバーカードの一体化

問

花火大会への協力は

答

町は側面から支援

問 去る8月13日、B&G海洋センターを会場に夏祭り花火大会が復活しました。どんな印象でしたか。

答 町長
花火は迫力があり、18軒の出店も町ゆかりの方々に、皆さんに大変喜んでいただいたと感じました。

問 町内の若者が中心に実行委員会を作り、雨天を衝いて祭りを盛り上げていました。これこそ町民主役のイベントと感心しました。町は花火に50万円支援しましたが、それ以外にどんな協力をしましたか。

答 町長
消防団や交通安全指導員の派遣要請を行うなど、円滑な運営に協力しました。



▲近くでドーン！迫力満点

問 花火大会は令和元年まで、夏祭りは平成29年まで商工会の主催でした。今は関わっていないようですが。

答 町長
私が答えられる立場ではありませんが、実行委員には商工会員や役員職員もいます。広く町全体から集ってイベントをやるのもいいと思っています。



おおもと はるひさ
大本 治久 議員



質問・答弁の動画は
←こちらから



▲更なる対策を求めて

問 今年は斑点米カメムシ類が昨年の3倍と発生表がありました。生産者にとって害虫対策は大きな負担になっています。より効果的、効率的な対策が求められていると考えます。

答 生産者からは斑点米カメムシ類の調査地や採取数について、情報量が少ないと意見があります。幅広く提供すべきと思いますが。

問 調査にご協力いただいた農家に配慮しながら、提供の在り方について検討してはいかがでしょうか。と思います。

答 町防除協議会では最新情報の収集に努めています。また、草刈りの呼びかけや共同防除に関する補助制度を周知することにより、防除体制の強化を図っているところです。

答

農家に配慮しながら提供

問

幅広く情報提供を

問

文化遺産と自然環境の保護を

答

調和ある取り組みを意識

当町には中世の城跡が多く保存され、観光客も訪れています。再生可能エネルギー事業による大規模な開発の影響について、町民は懸念を抱いています。自然と歴史文化を守ることも、町の未来に重要と考えます。



▲再生エネと調和を目指して



しもとまい あさこ
下斗米 麻子 議員



質問・答弁の動画は
←こちらから

問 町内で太陽光発電施設が増え、森林の大規模開発により、環境への影響が懸念されます。豊かな自然と歴史的文化遺産保護には、再生可能エネルギーとの調和が重要だと感じますが。

答 町長 令和3年に町独自で施行した「川崎町の環境と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例」に基づき、町民の想いと再生可能エネルギー事業との調和を意識しながら進めていきます。



▲全国に誇れる歴史的文化財

問 今ある文化財の新たな標柱とパンフレットの作成に取り組みむべきと考えますが。

答 教育長

今後、案内板を更新する際には写真等の表紙も検討したいと考えます。現行のパンフレットは、インターネットの口コミ等で高評価を得ています。現在の内容を基本としつつ、随時充実したものに更新していきます。

問 いくつもある貴重な山城の整備には、地域の方などに協力をいただいていると思いますが、高齢化が進んでいることを危惧しています。体制を見直すべきと感じますが。

答 教育長

協力をいただいている皆さんも年齢を重ねている状況です。今後の整備の在り方について、地域の方々と意見交換しながら検討していきます。



▲地域の協力も不可欠

問 斑点米カメムシ類の生息数は地域により変動すると考えられます。細かく把握するためには調査地点を増やすことが必要だと思いますが。

答 農林課長

当町の調査地点は現在18カ所です。昨年から重要な課題と認識しています。調査地点の増加に関しては、慎重に検討していきます。

問 カメムシ防除対策の一つである除草作業はとても重要です。多面的機能支払事業を推進していくべきだと思いますが。

答 農林課長

現在、多面的機能支払交付金を利用している地区は8カ所です。新たに立野や野上、前川地区で説明会を予定しています。草刈り等の報酬にも活用できまので、推進したいと考えています。



ささき あきお 議員
佐々木 昭雄



質問・答弁の動画は
←こちらから

問 新入学に伴うランドセルの平均購入額は5〜6万円、高いもので10万円以上と家計負担も大きくなってきています。

答

意見を聞き慎重に検討

問

新入生にランドセルを

答 教育長

当該事業が県内初となれば子育て支援として多方面にアピールする機会になります。できるだけ軽いランドセルで、子どもと家庭の負担も軽くしたいという思いもありますので検討します。



さとう きよたか 議員
佐藤 清隆



質問・答弁の動画は
←こちらから

問

部活動の地域移行は

答

一部は7年度を目途に

令和4年6月会議で「中学生の部活動のあり方」について質問しました。当時はまだ検討が始まったばかりで情報収集しながら今後の方向性を考えていくと言ったものでした。現状と課題についてお聞きします。

問 当町の現状と課題について伺います。

答 教育長

一部の種目では、外部指導者がボランティアで実技指導を行う地域連携が行われています。町内で部活動指導をお願いする人材を継続的に確保することが難しい課題だと捉えています。

問 今までどんな検討が行われてきましたか。

答 教育長

この事業を所管するスポーツ庁は、令和7年度を推進改革期間の最終年度と定めています。当町では7年度内に部活動の一部を地域移行することを目標に、先行事例を集めながら、内部で模索している段階です。

問 今後はどう進めていくのか。

答 教育長

B&Gで行っている「川崎町総合型スポーツクラブ運動笑楽校」の拡充を図り、部活動の種目に限らず体づくりに取り組めるような、取り組みができないか検討していきます。

問 生徒や保護者などへの周知はどのように考えていますか。

答 教育長

教育委員会としての方向性が固まった時点で、部活動地域クラブ移行の狙い、良さと課題、取組内容などを各中学校を通して伝えていきます。

問 先行している自治体では、移行に伴い新たな保護者負担も発生しているようです。金銭面の負担軽減から予算措置が必要と考えますが。

答 教育長

受益者負担という考えは必要だと考えますが、来年度後半から実施するとすれば、来年度の当初予算に反映させる考えています。



▲スポーツ離れも心配



▲軽いランドセルで笑顔 (提供: 山形県村山市)

問 自伐型林業で若者に仕事を

答 育てる政策を進める

問 他市町村では森林環境譲与税を使った自伐型林業※を積極的に導入し、若者の林業従事者も多くなってきました。林業の活性化と山を観光資源としても活用することが必要では。

答 町長

これまでは所有と施業を分離した施業委託型林業を中心に森林を管理してきました。自伐型林業は、適切な管理推進に必要だと認識しています。関係者の意見を伺いながら、観光資源としての活用も検討していきます。

※自伐型林業
個人または少人数のグループで伐採や搬出を行い、山に負担をかけるない持続可能な林業経営。

答 町長

山が荒れると有害鳥獣の増加につながりますので、山を守り管理していくことは課題です。林業関係者を受け入れ、担い手を育てる政策をしっかりと検討していきます。



▲可能性を探る現地調査

問 山形県村山市では3年前に導入し、当初は「ランドセル文化を失くすのか」など反対意見もあったが、現在は非常に好評とのこと。政策は早い方が効果的だと思えますが。

答 町長

既にランドセルを予約しているなど、保護者からの声も聞いています。事業の実施時期については十分に周知の時間をいただきたいと思います。



たかはし よしのり 議員
高橋 義則



質問・答弁の動画は
←こちらから

12月2日より保険証を廃止しマイナ保険証が発行され、持たない被保険者に資格確認証が発行されます。

答

有効期限まで使用可能

問

現在の保険証は使えるか

問 マイナ保険証を持たない方が診療する場合、現在の保険証を使い続けることはできますか。

答 町長

発行済みの被保険者証に記載されている有効期限までは使用可能です。

問 他自体では保険証で本人になりすまして診療する事例がありました。マイナ保険証でもなりすまし診療があり得るのでは。

答 保健福祉課長

マイナ保険証に限らず、暗証番号を利用するものでも悪用される可能性はあります。暗証番号は他人に教えない、知られないようにするといった基本的な対策を徹底してもらうことが重要だと考えています。



まとうば かなめ 議員
的場 要



質問・答弁の動画は
←こちらから

問

公共施設 今後の方針は

答

将来像が必要かを判断



▲今後の公共施設のあり方を

当町で維持管理している施設は、建設から40年〜50年が経過したものが目につくようになってきました。公共施設等管理計画では、今後の方針について修繕による維持管理を進めていく方針となっています。

問 人口減少も進み厳しい財政状況の中、今ある施設をそのまま残していくのか。また、行政区単位ではなく複数の区で共用できる施設にしていくかなど、今後の方針について発信していく必要があると考えますが。

答 町長

施設総量の最適化、施設の長寿命化、維持管理費の縮減を基本としています。どこまでの将来像が必要かを判断しながら示すべきだと思います。

問 訪問介護の情報提供は

答 相談窓口や介護手引きで

問 当町の高齢化率は令和4年度で39.2%、全国平均より10ポイント以上高い状況です。介護の利用割合も増加しています。

問 訪問介護は何人利用していますか。何事業者が取り組んでいるのですか。

答 町長

令和6年6月の実績で33人です。町内では社会福祉協議会のみが訪問介護サービスを実施しています。



▲健康寿命を伸ばす運動を

問 介護や訪問介護を受ける場合、受けたい方へのどのような形で情報を提供しているのか。

答 保健福祉課長

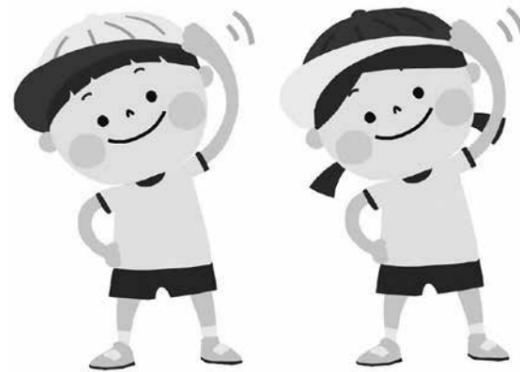
町のホームページや相談窓口に掲載しているほか、介護の手引きを相談窓口にて提供しています。65歳に到達する方へ介護保険証を送付する際に、相談先が書いてある文書も同封しています。

答

活動実態を調査

問

ラジオ体操の現状は



▲生活リズムと健康のために

各小学校での夏休み中のラジオ体操については、育成会が中心となり活動しています。しかし近年、育成会未加入者が増加傾向にあり、児童がラジオ体操に参加しづらい環境にあるようです。

問 現在活動している育成会事業に参加できるようにするのか。または、誰でも参加できるラジオ体操教室のような事業を新たに設置する方法がいいのか現状を把握し、調査検討を進めるべきだと思います。

答 教育長

川崎小学区の子ども会育成会加入率は全児童の30%弱、今年の夏休み期間中にラジオ体操を実施したのは6つの育成会の中で1つだけです。年度内に子ども会の活動実態調査や運営に関する考えなどを伺う予定です。

9月会議

会議は、10日から20日に開きました。
提案された議案は、条例改正案等3件、決算認定案8件、補正予算案6件、人事案1件を慎重に審議し、原案どおり可決しました。
ここではその一部を紹介します。

一般会計補正

総額8103万円追加

電気料金高騰 水利組合へ補助 80万円

■補正内容
電気料金の値上げや畑地化による作付け面積の減少により、ポンプ場を管理する水利組合の経費負担を軽減するため補助金を計上するものです。



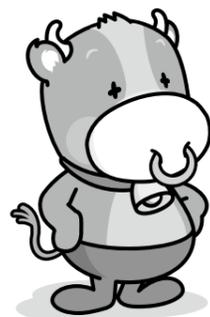
▲安定的な水利確保へ

インフルエンザ・ コロナワクチン予防 接種補助 2174万円

■補正内容
町民の健康被害を未然に防ぐ効果的な予防ワクチンを、少ない自己負担で接種するための事業費を計上するものです。

サル被害緊急対策 320万円

■補正内容
サルによる被害拡大が報告されていることから、新たに囲いなどを設置し被害軽減を図るため、流用した予備費を補正するものです。



病院事業会計補正 1785万円

■補正内容
空調設備の不具合を未然に防止するため、病院・福祉センター併せて工事費を計上するもので、一般会計と同額の1785万円を増額するものです。事業費総額は3570万円です。



▲大規模修繕が発生

人事案件

教育委員会委員(再任)



ひらま ゆりこ さん
平間 百合子 さん
(本荒町)
令和6年11月1日から
令和10年10月31までの
4年間

条例制定

「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係条例の整備に関する条例」

■提案理由

これまでの被保険者証等が廃止されることに伴いマイナンバーカードを利用したオンライン資格確認を行う必要があるため、関係条例について所要の改正を行うものです。

討 論

反対

高橋義則議員

新聞で取り上げられたアンケートでは、約8割の方が「現行の保険証を残してほしい」と報道されています。このことから町民から十分な理解が得られないのではないかと考えられますので、条例制定には反対します。

賛成

眞幡善次議員

行政手続きがスムーズにいくための条例制定であり、反対する理由はありません。マイナンバーを取得していない方にも措置が取られていますので、賛成します。

◆反対 1
◆賛成 11



追跡質問

以前の質問確認したい!

問 森林管理の取り組みは

答 経験ある元県職員を配置

問 昨年の9月会議で、森林環境贈与税を活用した森林管理と林業振興について質問しました。今年度の取り組み状況は。

答 町長
県職員として40年以上林業業務に携わり退職された方を4月から採用しました。経営管理集積計画を策定し、既に6件の計画を策定、公告しています。



▲計画的な取り組みに期待

問 昨年度新設した、町内産木材の使用量に応じて補助金を交付する事業の利用や問い合わせはありましたか。

答 農林課長
昨年は1件の交付がありました。今年度についても交付には至っていませんが、1件問い合わせがあります。引き続きPRしていきます。



さとう きよたか 議員
佐藤 清隆



質問・答弁の動画は
←こちらから

総務民生常任委員会

調査日 8月6日

キヤッシュレス決済の現状

社会ニーズに合わせ活用

【調査結果概要】

近年、コロナ禍の影響により、感染防止対策の観点から全国的に非接触決済の導入が進み、近隣自治体での導入も増えています。国保川崎病院では、平成

23年4月からクレジットカード決済、令和5年12月にはキヤッシュレス決済が導入済みとなっています。今後、庁舎内でのデジタル化推進を図る目的とさらなる町民の利便性向上や業務の効率化を図るため、

町民生活課と税務課窓口にもキヤッシュレス決済を導入する検討を行っています。



▲手数料支払いが便利に！

【委員会意見】

町民生活課、税務課窓口のキヤッシュレス決済の導入は、導入費・維持管理費・決済プラットフォームの種類等を比較検討した結果、すでに国保川崎病院の提供業者となっている法人が適した。今回は窓口手数料の

みの取り扱いとなりませんが、今後、社会ニーズに合わせた活用が出来るよう、引き続き調査研究を行ってください。また、事業開始については、広報紙やLINE等を活用して、しっかり周知するよう取り組んでください。

選挙投票率の向上対策

投票意識への働きかけを

【調査結果概要】

選挙権は、平成27年6月に公職選挙法の一部を改正する法律が公布され、18歳以上に引き下げられました。当町では「明るい選挙啓発標語・作品募集」や

「成人者への啓発活動」など、若い世代にも政治に関心を持つてもらうために選挙啓発活動への取り組みを行っています。

しかし、依然として若い世代の投票率が低いことから、町民全体

へ政治や選挙への興味が高まるよう期日前投票・不在者投票制度の周知徹底。また、地元の中高生を対象とした出前講座やパンフレット等による選挙啓発活動を継続的に実施しています。



▲僕の政策を聞いてください！

【委員会意見】

令和5年の町長選挙、令和6年の議会議員一般選挙では、共に60代・70代の投票率が一番高く、30代以下の若い世代は投票率が低い結果になっています。近年、期日前投票は増加傾向にあります。スマートフォンを利用した啓蒙活動などの再考や、期日前投票に來られる有権者の

分析についても検討してください。若い人に関心を持ってもらうためには、家庭内も含め教育の場でも主権者意識を高める働きかけが大切です。成人式同様に教育委員会とのさらなる連携に取り組んでください。

産業建設教育常任委員会

調査日 8月8日

中学校部活動の地域移行

指導者の確保が課題

【調査結果概要】

少子化が進み中学校の生徒数減少により、中学生が希望する部活動の設置が困難なケースや、人数不足で大会に出場することができないなど、集団活動へ

の影響が見られています。さらに、教員の大きな負担の解消を図り、深い生徒理解や授業の質を高めていくことも課題です。

国では「地域の実情に応じて、可能な限り地域移行の早期実現を

目指す」としています。しかしながら、移行を推進する環境整備はまだ手探りの状態です。



▲スムーズな地域移行を

【委員会意見】

成長期のスポーツ・文化芸術活動の経験は、心身の健全な育成と豊かな人間形成を図る上で重要であることが広く知られています。子どもたちがよりよく成長できる環境が創られるよう、学校と地域がしっかり連携しながら準備体制を整えてください。

特に地域移行で懸念となるのが人材の確保です。生徒を安心して預けられるような指導者の確保に努めてください。また、地域移行を本格実施する際は、費用負担の議論も考えられますので、町も伴走しながら適切な支援を検討してください。

公民館・分館の活動と管理状況 各種団体と連携を

【調査結果概要】

公民館では「学び合う 心へのこる先人の知恵 広めよう学習の輪」をキャッチフレーズに事業を展開しています。町民の学習拠点としての機能を強化

するとともに、学習課題とニーズを的確に捉えた事業を実践し、活力ある地域づくりと生活・文化・教養の向上を図っています。

各分館活動では、地域特色のある事業が展開され、コミュニティ

の醸成や地域文化の伝承につながっています。



▲さまざまな活動を推進

【委員会意見】

公民館や分館は地域住民にとって身近な学習拠点というだけでなく、交流の場として重要な役割を持っている施設です。公民館を視察したところ、図書室をはじめ各室、清掃が行き届き備品なども整理整頓されていました。今後とも地域住民が

気軽に集える拠点となることを意識して、環境づくりに取り組んでください。また、地域や各種団体と連携し、地域に根差した活動を推進してください。

みなさんの「声を想いを」聴かせて



▲にぎわい創出の意見が多数

じゃつぽの湯など、町の施設の休業等のお知らせを、町公式LINEで発信を。
町の歴史や魅力をわかりやすく発信する観光マップがほしい。



町内のイベントがかぶらないように横の連携があれば。
文化的事業にもっと取り組んでほしい。例えば、近隣で行われるコンサートや映画会、スポーツ観戦などに、町のバスで行けるような工夫があっても。

まちづくり・地域の活性化

今回は町民と移住者の交流と賑わい創出を目的にスタートした「かわさきDE雑貨市」実行委員会の皆さまからご意見を伺いました。



左から、志村恵美子さん（青根）、佐藤愛さん（立野）、大内雅子さん（青根）

町や議会に望むこと

観光協会を町役場に持つてきてはどうか。
土日・周遊型の小型デマンドバスを運行してほしい。
町民からのアイデアを受け付ける窓口がほしい。

町の観光施設に古いチラスなどがいつまでもあったりすることがないように目配り気配りをしてほしい。
観光協会のレンタサイクルは、今の場所では利用しづらい。



かわさきDE雑貨市実行委員会の皆さま、ありがとうございました。今回いただいた貴重なご意見・ご要望は、町政へ反映できるよう尽力いたします。

◆かわさき DE 雑貨市

手仕事、クラフト、お菓子、パン、野菜など、町内外から出店者が毎月集まり、山村開発センターで開催しています。

◆今後の予定

11月16日・17日、12月21日・22日
毎月第3土・日曜日、午前10時から午後3時まで

身近な議会へ 注目される広報紙づくりを

9月25日、東京都のニッショーホールで町村議会広報研修会が行われ、当議会から議会広聴・広報委員8人が参加しました。参加議員の報告から一部を紹介します。

意識高めて

佐藤清隆 議員

広報紙に町民を参加させることは、議会広報に興味を持ってもらう手段として有効ですが、当町の広報紙づくりはそこまでできていないと感じます。広報活動は、身近に議員の活動を知っていただく機会となり、広く町民と接する機会でもあり、多種多様な意見を聴く機会です。

町民と一緒に

下斗米麻子 議員

議会広報は決して独りよがりなものになっではならず、町民と一緒に考えて作る媒体にならないと思います。その工夫の一つとして「声メーター」と銘打ち、毎回町民の登場をカウントしていくという取り組みは参考にしたいと思いました。



機会です。

これからの小さな声を聴く力をつけ続ける努力をしていきます。

目を引く構成を

高橋義則 議員

目を引く構成として、主役（ターゲット）の設定や、文字サイズ（ジャンプ率）についての講演がありました。私は今まで読み手は全町民を対象に考え、主役を設けることや文字サイズの比率などを意識したことはありませんでした。

挑戦を忘れない

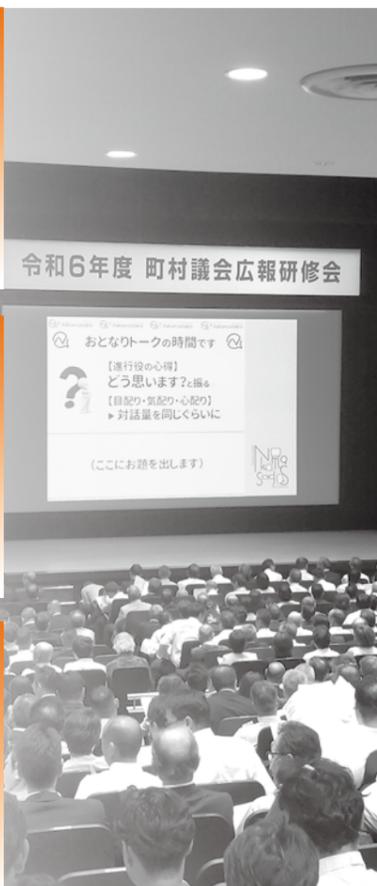
佐藤昭光 議員

議会活動の片手間ではなく、心を込めた広報紙づくりは広く手にとってもらえます。まちづくりに役立つことや、情性に流されたい紙面づくりの必要性を「言うは易く、行うは難し」ととらわれず常に挑戦を忘れないこと。また、議会が広報紙に対し挑戦を続ける姿を、じかに町民に知ってもらうことは大いに意義があると思います。改めて学ぶ機会となりました。

一層の努力

遠藤雅信 議員

講師の先生方は広報紙を作ることにかけてはプロですので、お話しをしている事は理解できましたが、当町のような人口の少ないところに住んでいる者としてはどうかと思うところもありました。しかしながら沢山の勉強になりました。今後も一層努力し、少しでも皆さんのためになるよう頑張りたいと思いました。



お知らせ

掲載写真を募集します

議会を傍聴して みませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか。また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は12月3日(火)～6日(金)
一般質問は12月4日(水)・5日(木)
午前10時、再開の予定です。

議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は9月会議3人、ライブ中継は153アクセスでした。)

本紙の「町の風景」(裏表紙)に掲載する写真を町民の方より募集します。写真をご提供いただける方は、議会事務局までご連絡をお願いします。



※ご提供いただいた写真が必ず掲載となるものではありません。ご理解のうえでご提供願います。
※写真のタイトルは議会広聴・広報委員会で決定いたします。

詳しくは議会事務局まで TEL (0224) 84-2301

町の風景



月光が浮かぶ洋館

撮影場所：青根温泉にて 撮影：原 太一郎さん (一般応募)

表紙の説明「ころばないでね」

こども園運動会にて
撮影：広報モニター 藤原 義信さん

議会映像配信

議会の様子が
ご覧いただけます。



発行：川崎町議会
編集：議会広聴・広報委員会

〒989-1592
宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175番地1
TEL (0224) 84-2301・FAX 84-6789
E-mail: kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp

印刷：株式会社ユーメディア